



【2012-2013年度 RIテーマ】

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：仲田 廣志 副会長：大塚 博巳 幹事：池ノ谷 敏正 副幹事：森下 敏顯

第1994回



【オオデマリ】

写真提供：鈴木舜光君

■ ソング 君が代・奉仕の理想 ■ ソング リーダー 小林 弘君

会長報告

仲田 廣志君

皆さん、こんにちは。ゴールデンウィークの中の例会にも関わらずご出席いただきまして有難うございます。昨日はあいにくの雨でしたが、27. 28. 29日といい行楽日和でした。私も29日に蓮花寺池公園にいてまいりました。藤の花、つつじの花は散り際に期待できませんでしたが、なでしこなど花壇に植えられた色とりどりの花が目を楽しませてくれました。人出も多く皆さんそれぞれ春を満喫していらっしゃいました。さて、先週は移動例会ご苦労さまでした。高野ガバナーの講義は、これから社会に出ていく学生にとって内容の濃い価値ある素晴らしいお話でした。高野ガバナーにはこの会報を通して改めてお礼と感謝申し上げるところです。昨日私も講師を務めさせていただきましたが、拙い話で学生の皆さんに満足いただけなかったのではないかと反省しているところです。冠講座もあと10回あります。講師となられる会員の皆さんには、ご足労をお掛けしますが、宜しくお願い致します。今日は、第一例会です。誕生日お祝い等、行事も多い例会日でもありますので、今日新入会員菅原君の入会式を後程行わせていただくという大変嬉しい報告をさせていただいて終わりとさせていただきます。



幹事報告

池ノ谷 敏正君

- 2620地区第5分区ガバナー補佐より
2012～2013年度インターシティーミーティングの御礼と報告書が届いております。
- 2620地区より
5月のロータリーレートのお知らせが届いております。1\$=98円です。
- 2620地区より
2013～2014年度地区ロゴマーク掲載のお知らせが届いております。
- 2620地区より
地区活動報告が届いております。
静岡新聞に地区協議会が掲載されました。
- 2620地区より
法人向けロータリー・カード「ビジネスカード」のお願いが届いております。
- 2620地区より
第23回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のお知らせが届いております。
- 東海ガス(株)より
藤枝本部新社屋落成式典のお礼が届いております。
- 2620地区より
ハイライトよねやま157号が届いております。
- エレガンスフラワーミルローズより
ミルローズ20周年記念パーティーのお知らせが届いております。
- ザ・ロタリアン誌4月号が届いております。

入会式

本日菅原君が入会されました。



氏名 すがわら しんじ
菅原 慎司

勤務先 (有)御庭工房

勤務先住所 藤枝市田沼2丁目14番11号

役職名 代表取締役



冠講座 委嘱状授与

講師に委嘱状が授与されました。

出席報告

中森 義次君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/41 78.04%	31/40 77.50%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○山田君 江崎晴君 大杉君 落合君 玉木君
仲田晃君 間野君 村松君 柳原君

ビジター

吉田 幾男君(焼津南)

結婚記念日
おめでとうございます

●大塚ご夫妻●



スマイルBOX

中森 義次君

- 「バースデー」ありがとうございます。還暦を過ぎ2年目！気持は“青年”です。

大塚 博巳君

- 最近体調が不良で家の中真っ暗。早く良くなる様病院通いほしているが、良い病院があったら紹介して下さい。

杉山 静一君

- 夫人誕生日、ありがとうございます。新茶期の忙しい時に生まれた妻ですが、これは結果論です。

松田 真彦君

- 「結婚記念日」ありがとうございます。結婚して38年を経過しました。(あっ！という間)これからは「孫達」に良い「爺ちゃん、婆ちゃん」と呼ばれる様頑張ります。

大塚 博巳君

- 結婚記念日、素敵なバラのブリザードフラワーありがとうございました。

大長 昭子君

スマイル累計金額 146,790円

ロータリーの友紹介

櫻井 龍太君



RI 会長メッセージ

は「平和」とRCが平和に向けて出来る事について解説して居ります。

(P42)世界平和フォーラムの記事がありますし、各国の平和度指数が掲載されております。

タテ書のP2には、第2620地区大会の記念講演の記録がありますから、地区大会に出席されなかった会員は特にお読み下さい。

同じく、タテ書のP24には、ミャンマーの学校訪問と題して、島田RCの会員10名が現地訪問した記事がありますから、お目通しください。

地区協議会報告

- 次年度会長
大塚 博巳君



1、日 時

2013年4月14日(日) 13:00 開会

2、会 場

静岡県コンベンションアーツセンター グラン
シップ

3、本会議

(1) 高野孫左エ門 ガバナー

①ご挨拶

ロータリーでの「不易流行」について

- ・どのように変化を認識し、対応するか?・・・今後、ロータリーでも考えなければならない。

②ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの紹介

(3) 志田洪顯 ガバナーエレクト

①「未来の夢計画」について

- ・財団に寄付した資金を有効に活用する
※財団補助金の運用：本会計と別な会計処理とする。(透明性にする、監査もある)
- ・戦略計画 各クラブ運営で「夢の未来3年計画」を策定すれば成果につながる。(会員の増強、維持につながる)

4、各部会

(1) 講演：二神典子様 【ロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリーの友編集長】

①戦略計画での「公共イメージ」について

- ・ロータリーマーク(徽章)の大切さ
使用方法：ルールがある。
※色は単色であれば自由
マークを半分の形にして使ってはいけない、マークに文字を重ねてはいけない。
- ・ブランディング：広報のテーマ「ブラ

ンドを作りましょう、確立しましょう」

・ホームページ

目 的：誰のために作っているか、誰をターゲットに作っているか

注意点：掲載してはいけないもの

個人情報、クラブ週報(揉め事になる場合がある)、奉仕活動等の写真(本人関係者の許可を得ること、) ※ID、パスワード制にすることが望ましい。

：掲載したほうがよいもの

奉仕活動は、詳しく掲載したほうがよい。

委員会報告で済ませているクラブが多いがもったいない。

更 新：できるだけ細かく更新する。

リンク：検索しやすくする。

②職業奉仕を強調する・・・会員一人一人がロータリーの顔である。

ロータリアンの立ち振る舞い、行動がロータリークラブとして見られる。

③行動を主体とした奉仕を推進する・・・汗を流す活動を取り入れる。

地域社会のニーズを確認することが必要。

(子供、女性の意見を大切に)

5、全体会議

(1) 志田洪顯 ガバナーエレクト

①日本のロータリーは世界で№2の力を持っている。

指導的な役割を果たさなければならない。

尚、アジア地域では、台湾から「RI会長が内定」している。

②「心に残るロータリー活動」の紹介

大村会員(甲府南RC・土地家屋調査士)により、実例が紹介された。

- ・日本とブラジル間の業務上の難しい手続きが完了した。

- ・ロータリーの縁(GSEがきっかけ)で地域に貢献できた。

③多様性について

会員数は、世界で122万人、日本は9万人。

「多様性の集団であり、国際的な組織である」ことを忘れてはならない。

・クラブによっていろいろな事業があってもよい。(個性も必要)

④第2620地区 テーマ

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」・・・RIのテーマと同じにしたロータリーのブランドを高める(存在意義を伝える)

⑤2013～2014年度の「会員負担金、地区目標」は地区協議会の資料に掲載してあるので参照してほしい。

●次年会員増強 委員会 委員長 鈴木 邦昭君



会員増強・維持部会は、会長・幹事と同じ場所でおこなわれました。

内容は「ロータリーの友」編集長で東京築地RCの二神典子さんを迎えての講演会でした。

お話のなかで、『ロータリー・モーメント』という言葉が多く聞かれ、印象深く残りましたが、その意味とは(心に残るロータリーの体験)で、RI会長の田中作次氏も「ロータリアンなら誰しも、自分にとって特別な意味のある経験がある」これを『ロータリー・モーメント』と呼ぶと述べています。

経験の浅い自分ですので、まだまだ自信をもっていえる体験はありませんが、

感動する出来事は人それぞれですし、これからは『ロータリー・モーメント』

を意識して活動に参加していきたいと感じました。そして、ロータリーの原点である奉仕の心につなげていければ、先輩ロータリアンに一步でも近づけるのではないかと思いますし、会員増強をする上でも自信につながると感じます。

役不足な自分ですが、役を頂いたことで色々な場に参加する事も増えますので、様々な体験を通して視野を広げ、楽しんで活動していきたいと思います。

●次年度クラブ 管理運営委員会 委員長 鈴木舜光君



志田年度 広報委員会活動目標

- 1) ロータリーブランドの強化に繋がる広報活動
- 2) 各委員会事業の広報に努める
- 3) 「未来の夢計画」による補助金事業を積極的にアナウンスする

・ロータリーブランドとは、自分の職業を通して社会に奉仕する事である。

それには一人一人の自覚が大切である。

・ブランドを上げるには、長い年月が必要であり、世間が共感できる物でなければならない。

・ITをもっと利用して、全国にロータリーをアピールしなければならない。ライオンズクラブと比べると、アピールが下手である。

・アピールするには、市町の記者クラブなどを利用するとよい。

・会報のデジタル化

・ホームページの活用、SNS(フェースブックやツイッター)の利用

・ホームページやフェースブックやツイッターを利用するときは、個人情報に注意しなければならない。

・「未来の夢計画」を広報担当としてどの様に発信していったらいいか。

●次年度奉仕プロジェクト委員会 委員長 平 和則君



第 2620 地区 2012-2013 年度 地区協議会
(2013.4.14)分科会報告

国際奉仕委員会委員長:渡邊英昭氏(清水中央 RC)、
ロータリー友情交換小委員会:
八田峰夫氏(パワー浜松 RC)より、以下の説明・報告がなされた。

①青少年交換委員会

←従来からあるプログラムである国際親善を目指す高校生を約 1 年間海外派遣すると同時に、海外から高校生を受け入れるものに加え、昨年度より、短期交換プログラム(夏季、約 3 週間)を新たにスタートした。

- ・現状は、アメリカ、ドイツ、ベルギー、フランス、フィンランド、オーストラリアなどの国々と交換事業を実施している。
- ・課題はクラブの会員数の減少、財政的な負担、ホストファミリーの選定等である。
- ・現在、静岡第 6 分区と第 7 分区に毎年、実施の協力要請をしている。
- ・今後、インターアクト委員会と情報交換(派遣学生の選出)を行う。
- ・帰国学生を組織的にサポートする連絡網体制を作る。(委員会行事への参加など)

②ロータリー友情交換小委員会

←昨年度より新規に開始したプログラム。ロータリアンとその家族が海外ロータリアンを訪問、また受入するシステム。

- ・昨年度はアメリカ第 5280 地区(ロスアンゼルス地区)と実施した。
- ・現在進行形のホヤホヤのプログラム。夫婦、シングルどちらでも OK、柔軟にやる。
1 週間のホームステイ。例会出席。職業紹介。
ロータリアンのしぼりは 1 週間。
地区補助金なし。宿泊費はイーブン。費用か個人負担。3 組位が適当と考えている。
次年度早々、参加ロータリアンを募集する。
(昨年度は 2 回募集したが返答なし。甲府と静

岡で見つけてもらった)

③分区補助金の新たな制度化について

静岡第 6 分区と第 7 分区で実施している制度を、新たな制度として地区全体の分区(11 分区)で実施して行きたい。未来の夢計画の仕組みに合致させる考え方を基本として行きたい。

『各クラブ会員 1 名につき、1,000 円の人頭負担金(仮称 青少年交換補助金)を毎年拠出する。』基金の名義人および管理責任者は、当該年度のアシスタントガバナーとし、毎年年度末にその収支をガバナー事務所および会長幹事会に報告する。

ガバナー事務所への報告方法に関しては、未来の夢計画による財団資金管理方法に準拠する。

以上、各クラブと会員各位のご理解とご協力をお願いしたい。

●次年度新世代
委員会
委員長
島村 武慶君



私は、新世代委員会の分科会に出席しました。最初にびっくりした事は、ほぼすべての RC に新世代委員会はあるものの、インターアクト、ローターアクトクラブ共もっていないクラブが結構多い事でした。

その中で藤枝 RC は、藤枝順心高校のインターアクトクラブの後方支援状況と少年サッカーの藤枝市内リーグへの支援等の報告をさせて頂きました。今年度は、静岡 RC が委員長輩出クラブとして、静岡ローターアクトの会長が進行をし、活動内容の報告がありました。藤枝 RC にはローターアクトがない為、活動内容は新鮮なものでした。藤枝順心高校には、今年度 7 名の新部員が入ったという朗報をもとに、昨年同様お金ばかりの支援でない活動をしていく計画です。

●次年度ロータリー
財団委員会
委員長
青島 克郎君



1. 中山正邦財団委員長挨拶の後、議題にはいる
2. 未来の夢計画と補助金について(曾根地区R財団副委員長)

地区補助金

- ・クラブ規模により上限が決められていてクラブとして同額もしくはそれ以上の支出が求められる。(藤枝 20 万円)
- ・プロジェクトの内容の規制が緩和され幅広い用途で利用可能
- ・主として地域に対する奉仕が主流で単年度完結でかつ継続的效果が期待できるものが好ましい。
- ・当地区での次年度の申請は 78 クラブ中 47 クラブがあり全て承認された。

グローバル補助金

- ・1つのプログラムに対する補助金の上限がないが申請、承認の先着順となる。
- ・プログラムの目的が 6 つの人道支援項目の 1 つに該当する必要がある。
- ・海外のクラブと共同で実施する必要がある。
- ・地区財団活動補助金(DDF)と同額の国際財団活動資金(WF)が上乗せされる。

3. 地区補助金プロジェクトの活動報告 (鈴木地区補助金グループリーダー)

- ・ロータリー財団事務所開設 静岡氏追手町 安藤ビル

4. ロータリーカードの普及 (深沢由美子資金推進小委員会委員長)

- ・実績 Gカード 39 名 STDカード 154 名 (6.4%)
- ・利用額に応じカード会社から財団に寄付がされる。

5. ポリオ

2013 年 12 月に終結される予定だったポリオ撲滅活動はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの 4 国となったが紛争などでワクチン接種の実施がきわめて困難で継続的支援を余儀なくされている。

6. ロータリー財団奨学生と G S E プログラムの中止と山静学友会員によるクラブ卓話の推奨。

7. 財団寄付と米山記念奨学生支援寄付

- ・ R財団寄付(年次寄付) 100\$/会員 1 名
- ・ベネファクター(恒久基金寄付) 1,000\$ 1 名 (1\$=98 円)
- ・米山寄付 16,000 円の要請に対して 10,000 円/会員 1 名

◎ 冠 講 座

第 4 回講師 仲田廣志君

『もの造りの世界に生きて』

出席者：池谷佳典君、河井宏文君

(担当／池谷君)